



無事故ドライバーをめざして（3）緊急時の措置

無事故ドライバーになるための知識をクイズ形式で確認してきましたが、今回は最終回となります。「緊急時の措置」についてクイズ形式で確認していきましょう。

緊急時の措置

緊急時の措置に関する次の設問について、正しいものには○、間違っているものには×をつけてください。

- | | |
|----|--|
| 問1 | 後輪が横滑りをしたときは、直ちにブレーキを踏んで減速してから、横滑りした方向と反対側にハンドルを切って車の向きを立て直すようにする。 |
| 問2 | 走行中にパンクをした場合は、ハンドルをしっかりと握って車体をまっすぐ保つようにし、断続的にブレーキを踏む。 |
| 問3 | 下り坂でブレーキが効かなくなったときは、すばやくシフトダウンし、ハンドブレーキを引く。 |
| 問4 | 高速道路で故障のために停車するときは、車内に残って救援を待つようにする。 |
| 問5 | 走行中に大地震が発生し車を置いて避難するときは、エンジンを止め、キーをつけたまま、窓を閉めドアをロックする。 |

1. まずアクセルを緩める

正解	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/>

後輪が横滑りをしたときにブレーキを踏むと車の動きが不安定になり危険です。まずアクセルを緩めて、後輪が滑る方向に軽くハンドルを切り、車の向きを立て直します。そして、車の向きがまっすぐになりスリップする危険がなくなったらブレーキを踏んで減速します。

2. パンクしてもあわてない

正解	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/>

走行中に万が一タイヤがパンクした場合は、あわてずにハンドルをしっかりと握って車体をまっすぐに保つようにします。その上で断続的にブレーキを踏んで、スピードを落とし、道路の左端に車を停止させます。

3. フットブレーキを使わない減速を

正解

下り坂でフェード現象(フットブレーキを使い過ぎると、ブレーキが過熱して効かなくなる)などが発生してブレーキが効かなくなったときには、すばやくシフトダウンしてエンジンブレーキを効かせるとともに、ハンドブレーキを引きます。それでも減速しない場合には、山側に車体の側面を接触させるか、道路脇の土砂などに突っ込むなどして停止させます。

4. ガードレール等の外に出て待つ

正解

高速道路での停車は、後続車から追突されるおそれがあり危険です。故障等でやむを得ず停車したときは、すぐに車から降り、ガードレール等の外へ出て救援を待つようにします。

5. ドアはロックしない

正解

走行中に大地震が発生したときには、まず道路の左端に停車します。車を置いて避難するときは、エンジンを止め、キーはつけたままにして、窓を閉めドアはロックしないようにします。

3回にわたってお送りした「無事故ドライバーをめざして」はいかがでしたか。年末年始は何かと慌ただしく運転中もつい急ぎがちですが、運転の基本をいま一度振り返って、今年も安全運転を心がけましょう。

(2011年1月作成)